

# 「測量・地理空間情報イノベーション大会2024」のご案内

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを利用した新事業の展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として「測量・地理空間情報イノベーション大会2024」を開催します。

今年是对面(6月11日(火)～12日(水))とオンデマンド配信(7月1日(月)～21日(日))で開催を予定しております。対面開催は、東京会場のプログラムを、協会支部のサテライト会場にも同時配信を予定しています。詳細は決定次第、当協会ホームページで発表いたします。なお、例年同様測量系CPDポイント対象となります。

- 【主催】 公益社団法人日本測量協会(日本学術会議協力学術研究団体)  
【共催】 スペーシャリストの会(空間情報総括監理技術者の会：SPの会)  
ジオメトリストの会(地理空間情報専門技術者の会：GMの会)  
【後援】 国土交通省国土地理院  
【日時・場所】

## 対面開催

日時 2024年6月11日(火)～12日(水)

場所 東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1)  
サテライト会場 札幌・仙台・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

## オンデマンド 配信

日時 2024年7月1日(月)～21日(日)

場所 特設サイト

## プログラム概要

対面開催(東京+サテライト会場)とオンデマンド(録画)配信をします。  
なお、ポスター展示として企業・団体の紹介コーナーも設営・Webサイトで公開します。

## 資料集について

対面開催においては当協会会員の方は無料、一般の方は1,000円(税込)で提供いたします。

また、対面開催以外での資料集の購入については、当協会会員の方は1,000円(税込)、一般の方は2,000円(税込)(送料込み)で販売いたします。なお、お支払方法は振込(手数料自己負担)となります。

## 受講証明書発行について

|             | 受講証明書の取得方法  |
|-------------|---|
| A. 対面開催     | 来場申込後にメールにてお送りする受講票に、対面会場にて来場受付印が押印された受講票が受講証明書となります。   |
| B. オンデマンド配信 | 特設webサイト内でダウンロードした申請書(エクセルファイル)に「動画内にテロップで表示される問題に対する回答+100字以上の技術者としての意見・感想」を入力したものを運営事務局へ提出と、アンケートの回答を行っていただきます。<br>内容に不備がなければ受講証明書をPDFで発行します。<br>受講証明書発行申請受付期間：2024年7月1日(月)～7月21日(日)23:59 |

## A. 対面開催

6月11日(火)

(敬称略)

| 時間帯                 | ホール  | ギャラリー1  | CPD<br>ポイント |
|---------------------|--|---|-------------|
| 10:00<br>}<br>10:20 | 主催者挨拶・後援者挨拶  |   |             |
| 10:20<br>}<br>12:00 | <b>講演①技術最新動向</b><br>「精密重力ジオイド」<br>国土交通省 国土地理院 菅原 安宏<br>「空間情報技術の変遷」<br>アジア航測(株) 織田 和夫   | —   | 2           |
| 12:00<br>}<br>13:00 | 昼休み  |   |             |
| 13:00<br>}<br>14:00 | <b>ポスターセッション</b><br>東京会場：講演は行いません。ポスター展示<br>を見ていただく時間とします。<br>サテライト会場：ポスター展示者の発表動画をご覧<br>いただきます。   | —   |             |
| 14:00<br>}<br>15:00 | <b>講演②特別講演</b><br>「地殻変動観測からみた令和6年能登半島地震」<br>京都大学防災研究所地震災害研究センター<br>西村 卓也   | ホール講演中継   |             |
| 15:00<br>}<br>17:00 | <b>講演③IoT, Bigデータ, AI等への対応</b><br>「人工知能に関する取組みの紹介」<br>(株)パスコ 佐藤 俊明<br>「国道におけるMMSを用いた三次元点群の収集状況<br>と利活用について」<br>国際航業(株) 阿部 亮吾<br>「AIによる地物自動モデリング ～PLATEAUにお<br>ける挑戦～」<br>アジア航測(株) 新名 恭仁<br>「測量・地理空間情報分野におけるAIの手軽な適用<br>について」<br>朝日航洋(株) 大伴 真吾 | <b>講演④パネルディスカッション「ソクジヨの会<br/>の歩みとこれから」(ソクジヨの会)</b><br>司会 (株)パスコ 大垣 志織<br>講演「ソクジヨの会の歩みとこれから」<br>朝日航洋(株) 杉森 純子<br>(株)パスコ 鎌田 聖子<br>パネルディスカッション<br>コーディネーター 国際航業(株) 小野 恵<br>「働き続けられた女性技官の振り返り」<br>国土交通省 国土地理院 マービット 京湖<br>「劇的じゃなく、波乱もなく、でも楽しい毎日」<br>アジア航測(株) 服部 たえ子<br>「自己紹介と普段考えていること」<br>(株)建設技術研究所 松田 光弘<br>パネリスト 中日本航空(株) 横山 千尋 | 4           |

6月11日・12日 東京会場 多目的ホール

ポスター展示

能登半島地震災害対応展示

(協力：朝日航洋(株)、アジア航測(株)、国際航業(株)、国土交通省 国土地理院、中日本航空(株)、(株)ナカノアイシステム、(株)パスコ)

月刊『測量』展示

6月12日(水)

(敬称略)

| 時間帯                 | ホール  | ギャラリー1  | CPD<br>ポイント |
|---------------------|--|---|-------------|
| 10:00<br>}<br>12:00 | <p><b>講演⑤能登半島地震への災害対応</b><br/>「元旦に発生した大地震 現地での被害調査対応」<br/>(株)ナカノアイシステム 安田 明</p> <p>「能登半島地震に伴う新潟県内の災害復旧の事例」<br/>(株)オリス 吉田 敏春, 本田 久人</p> <p>「震災復興と土地家屋調査士」<br/>日本土地家屋調査士会連合会 石野 芳治</p>   | <p><b>講演⑥パネルディスカッション</b><br/>「ジオイド2024公開によるこれからの高さ情報」(GMの会)</p> <p>開会挨拶(GMセッションの趣旨説明等)<br/>国際航業(株) 小川 忠利</p> <p>総合司会 国際航業(株) 加納 政宏</p> <p>モデレータ アジア航測(株) 森池 寛通</p> <p>パネルディスカッション<br/>「我が国の標高体系と今後の動向」<br/>(公社)日本測量協会 岩田 昭雄</p> <p>「センシングツールによる高さデータの取得・処理」<br/>ESRIジャパン(株) 桑野 裕士</p> <p>「現場活用における3次元データ活用に関する課題」<br/>(株)EARTHBRAIN 緒方 正剛</p> <p>「ジオイド2024公開による標高改定やGNSS標高測量～実務者が知りたい事柄～」<br/>国際測地(株) 臺 達樹</p> <p>「UAVによる高さデータの取得・処理」<br/>(株)エアフォートサービス 宮川 潔</p> <p>「GIS利活用から高さ情報について考える」<br/>朝日航洋(株) 今井 友桂子</p> <p>閉会挨拶 アジア航測(株) 山崎 廣二</p> | 2           |
| 12:00<br>}<br>13:00 | 昼休み  |   |             |
| 13:00<br>}<br>15:00 | <p><b>講演⑦準天頂衛星, GNSS等最新動向</b><br/>「準天頂衛星システム「みちびき」の利活用の現状と今後の展開について」<br/>内閣府宇宙開発戦略推進事務局 和田 弘人</p> <p>「アジアに広がるJICAの電子基準点プロジェクト—達成と課題—」<br/>(株)パスコ 辻 宏道</p> <p>「令和6年能登半島地震被災地におけるGNSS測量—能登半島地震と測量業界の未来—」<br/>(株)国土開発センター 江田 久嗣</p> | <p><b>講演⑧パネルディスカッション</b><br/>「災害に向き合う」(SPの会)</p> <p>ファシリテータ (株)パスコ 下村 博之</p> <p>パネルディスカッション<br/>「復興の見える化を～東日本大震災の復興から～」<br/>(株)パスコ 菊地 隆</p> <p>「災害初動対応について～測量技術者に求められるものとは～」<br/>中日本航空(株) 外山 康彦</p> <p>「持続可能な防災活動への取り組み～CIVIL3 &amp; 大阪府測協 &amp; GIS支援センター &amp; SPの会の取り組み～」<br/>(株)かんこう 遠藤 浩二</p> <p>「事前復興の基盤となる情報プラットフォームの構築と活用～東日本大震災の復旧・復興プロセスにおける課題と教訓から～」<br/>復建調査設計(株) 新宮 圭一</p>   | 3           |
| 15:00<br>}<br>15:50 | 「GNSSによる高精度測位と利活用」<br>東京海洋大学 久保 信明   | ホール講演中継   |             |
| 15:50<br>}<br>16:00 | まとめ・閉会   |   |             |

6月11日・12日 東京会場 多目的ホール

ポスター展示

能登半島地震災害対応展示

(協力: 朝日航洋(株), アジア航測(株), 国際航業(株), 国土交通省 国土地理院, 中日本航空(株), (株)ナカノアイシステム, (株)パスコ)

月刊『測量』展示

## B. オンデマンド配信

7月1日(月)～21日(日)公開予定

(敬称略)

| プログラム  | CPD<br>ポイント   |
|--|---|
| <b>講演⑨広めよう！理解しよう！空間情報の価値</b><br>「空間情報のチカラ(力, 地から, 知から, 値から)」<br>「QGIS教育—GIS難易度は人それぞれ—」<br>「屋内空間における地理空間情報活用」<br>「森林分野における空間情報の活用」<br>「グリーンレーザーを用いた藻場情報の取得事例と課題」  | (株)テイコク 早川 和夫<br>朝日航洋(株) 新井 千乃<br>国際航業(株) 田端 謙一<br>(株)パスコ 岡部 隆宏<br>アジア航測(株) 市橋 理<br>2 |
| <b>講演⑩周辺分野の測量</b><br>「衛星リモートセンシングをテーマとした関連学会合同シンポジウムについて」(一社)日本写真測量学会 今井 靖晃<br>「VIRTUAL SHIZUOKAについて」静岡県交通基盤部政策管理局 増田 慎一郎<br>「DRM-DBのプラットフォーム化について～DRM-PF(プラットフォーム)について～」(一財)日本デジタル道路地図協会 渡辺 明彦  | 2   |
| <b>講演⑪ベンダーフォーラム</b><br>「【新技術】映像を用いたインフラ点検の紹介 —栈橋床板下面点検・トンネル覆工面点検—」朝日航洋(株)<br>「点群データのBIMへの利活用」(株)一寸房コンサル<br>「VTOL型ドローン「エアロボウイング」を活用した航空写真測量の事例紹介」エアロセンス(株)<br>「進化するドローン点検。最新ソリューションのご紹介」(株)快適空間FC<br>「みちびき対応ドローンと三次元点群を活用した点検と施設管理」(株)コア<br>「カメラ付GNSS, SLAMスキャナの点群処理～正しい計測のために知っておきたい勘どころ」(株)小泉測機製作所<br>「ネットワーク型RTK配信サービス概要と活用事例の紹介」(株)ジェノバ<br>「都市人流のデジタルツインを実現するGEOTRA～生活者ひとりひとりの動きがわかる合成データの活用～」(株)GEOTRA<br>「海外ソフトウェア及び測量機器についてのご紹介」ビジオテックス(株)<br>「PAS(フェーズワン航空撮影システム)—3Dオブリーク/ワイドエリア/4バンド 撮影ソリューションについて」Phase One Japan(株)<br>「準天頂衛星と地上波の共創による屋内外シームレス3D測位システム」MetCom(株)<br>「RIEGL 2024年ラインナップのご紹介」リーグルジャパン(株)<br>「LRTK Phoneでスマホを万能の測量機に」レフィクシア(株) | 閲覧会社数<br>4～7社：<br>1ポイント<br>8社以上：<br>2ポイント   |
| <b>講演⑫三次元点群測量の検定の実際</b><br>「三次元点群測量の検定の実際—測量成果品作成のポイント—」(公社)日本測量協会 内山 浩二郎  | 1   |

※対面開催で行われたホール、ギャラリー1の講演・パネルディスカッションはオンデマンド(録画)配信も行います。

### 受講証明書申請時の注意点

- ①測量系CPDポイント学習プログラムです。取得できる測量系CPDポイントは、いかに数多くの講演を視聴されても対面・オンデマンド配信分を合わせても最大11ポイントです。
- ②同じプログラムを複数回視聴して申請において重複したプログラムの申請があった場合は、重複は認めず1視聴のみとカウントします。
- ③対面開催参加分の申請には、来場受付印が押印された受講票が受講証明書の代わりとなります。
- ④オンデマンド配信分の申請には視聴したことを確認するため、特設webサイトからダウンロードできる申請書(エクセル)の提出が必要です。  
 申請書には
  - ・視聴した各講演動画ごとに設定されている問題に対する回答
  - ・100文字以上の『技術者としての意見・感想』の入力
  - ・アンケートの回答
 が必要となります。  
 なお、誤った回答や『技術者としての意見・感想』が指定文字数に満たない場合は受講証明書は発行できません。入力した申請書(エクセル)は特設サイト内「受講証明書申請フォーム」にアップロードいただきます。詳しくは特設サイト内でご案内いたします。
- ⑤オンデマンド配信分の受講証明書発行申請は7月21日(日)までとし、それ以降の申請は受け付けられません。

### その他

- ・プログラム・受講証明書申請方法については今後、変更する場合があります。
- ・オンデマンド配信分の視聴はご自身のパソコンやタブレットなどから接続していただきます。
- ・CPD協議会への学習履歴(ポイント)登録は、ご自身でご登録をお願い致します。